

# 奉賛趣意書

令和6年 10 月吉日  
菅生神社 宮司 児玉隆司

謹啓 時下 愈々御清祥の段お慶び申し上げます。

陳者、平素より菅生神社のことにつきましては、格別の御高配を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

さて菅生神社の御垣内に鎮座します開運稲荷大明神は松平清康公が岡崎城ご入場のおり、(1523年)菅生神社に参籠されし時にご神託を享けられ、岡崎城内に菅生稲荷大明神のご分霊を移し祀られました。

松平清康公が家臣の大久保忠茂に岡崎城下での楽市楽座の権利を与えたことにより、岡崎城下に諸国の商人が集まり、大手門前には商人の町(後の連尺町)ができはじめます。これを岡崎の商業の始まり『岡崎の開市』と呼びます。今年はその始まりから500年が経過した節目の年にあたります。

この佳年にあたり、過去を未来に伝え紡ぐ奉祝記念事業として、御参拝の皆様が心地よくお過ごし頂ける為の境内整備を執り行います。

お社前の3本の朱鳥居は、10年近く多くの参拝者をお迎えしてきましたが、長年雨風に晒され傷みが激しく早急の対応を余儀なくされる状態となりました。

つきましてはこれを機会に建て替えることに致しました。

この度の奉賛のお願いに何卒御理解頂き、何分の御奉賛を賜りますれば幸甚に存じ上げ、この儀、切にお願い申し上げます。 謹白

## ご奉斎のお願い

### 開運稲荷大明神鳥居立替工事 総額 50万円

- 奉賛金 1基奉納 20万円  
1口 5,000 円、2口 10,000 円、4口 20,000 円
- 記念品といたしまして、特別朱印授与又は特別朱印帳に特別朱印をお書きしてお渡しいたします。
  - 1基・・・特別朱印見開きサイズ朱印帳に特別朱印を直接書き、ご芳名を鳥居に筆書き
  - 1口・・・特別朱印(両面書置き)授与、ご芳名を垣内に掲示
  - 2口・・・特別朱印帳に特別朱印を直接書き、ご芳名を垣内に掲示
  - 4口・・・特別朱印見開きサイズ朱印帳に特別朱印を直接書き、ご芳名を垣内に掲示
- 御奉賛者の皆様には、御神前にて御芳名を奉告申し上げ開運延寿の御祈願を御奉仕致します。